# 激しい議論にドキドキ！

## 大石田小学校6年生が議会を傍聴

12月定例会３日目に、大石田小学校６年生33人が議会を傍聴しました。少し緊張した面持ちでしたが、熱心にメモをとり議論に耳を傾けていました。紙面の都合上７名の感想をご紹介します。

ぼくは、テレビで議会をやっているのは見たことがあったけど、目の前でやっているのを見たことがなかったのでとても勉強になりました。ぼくたちにわかりやすく質問・答弁をしてくれたのですが、ぼくはあまり理解できませんでした。

でも町をどうすればよくなるかなどを話し合っていたので、ぼくもボランティアで協力したいなあと思いました。先日はとても勉強になりました。そして高れい者のためにも便利な物を開発するということはやさしいなあと思いました。

伊藤　恭哉（きょうや）

今回初めて町議会を見させてもらいました。毎回質問してはその答えをもらってとくり返して一つの議題を解決するということが大変な作業をしていることが良く分かりました。

今回見させてもらった議会の議題は、高れい化の話とその高れい化による除雪の負担、運動能力の向上でしたが、後から先生の話を聞くと、いつもはさらに難しい議題で話して下さっていると知り、もっとすごいことをやっている、よりよい町にするためにやって下さっているんだと思うとすごくうれしくなりました。

星川　昴太（こうた）

大石田町をよりよくするために、町の問題点などを見つけて、それを改善するために、議会でたくさんのことを話し合っていて、すばらしいと思いました。

特に高れい者の除雪が大変ということに対して、流雪溝のふたを高れい者が開けやすいようにしようとしていることも、しっかりと町民のことを考えていて、すばらしいと思いました。

議員のみなさん、これからも大石田町がよくなるために、がんばってください。

尾﨑　巧茉（たくま）

私は、町議会見学をして、高れい者は除雪が大変だということはよく分かりました。私のおばあちゃんもおじいちゃんも、学校から帰ると雪かきをしてくれています。だから私も、宿題が終わるとほとんど毎日手伝いをしています。よりよい町にするためには、流雪溝も高れい者が使いやすいようにというか、雪かきがしやすいようにしたらいいと思いました。

これから雪がたくさん降ると思うので、だれでも雪かきができるようにしたらいいと思いました。

青木　花鈴（かりん）

私は、大石田町議会で話を聞いて思ったことがあります。

一つ目は、子ども達に少しでもいいので運動させることです。私は、運動すると気持ちがよくなるし、できなかったことができるようになると、とてもうれしいので、運動させるのはいいと思います。

二つ目は、よりよい町づくりということについてです。私は、高れい者や子ども達についての話を聞いて、私達や町民の人々のことを大切にしてくれて、よりよくしてくれていると思いました。

安達　朱梨（しゅり）

毎日、気軽に生活しているけど、私たちが見ていないところでは、こんな会議があってびっくりしました。

一番心に残った話は、除雪作業のことやお年寄りの方が大変な思いをしてやっていることで、ボランティアに参加してみたいと思いました。大石田小学校からも募集してほしいと思います。そしてこれからはもっとよりよい大石田町にしたいと思いました。

このごろは、かんやごみのポイ捨てがあるようで、そのことでも話して欲しいと思います。

加藤　心音（ここね）

私は議会見学をしてとてもよかったと思います。高れい者が増えてきて、十年後には40％、約半分の人が高れい者になるという話を聞いてとてもおどろきました。

また、高れい者に活気をあたえるためにそうすれば近所の人とコミュニケーションを取るのも大切だと思うし、除雪をいっしょにしたりしやすくなると思うので賛成です。

議会を見学させていただき、今自分達の運動能力のことや、今の町の様子、今後はどうなっていくのかなど、たくさんのことを学べたし、理解できたのでよかったです。

伊藤　桜子（さくら）